



頃春

今年の成犬の日
 今年の干支は戌——犬は、家畜の中でも最も人間と古い付き合いをしている動物だといわれています。もともと、野生のオオカミやジャッカルを飼いならしたが、人間とパートナーを組む始まりました。犬の嗅覚は人間の百倍、それ以上で、聴覚も人間よりはるかに良いといわれています。視力は近視ですが、動くものには敏感に反応し、方向感覚にも優れています。さらに、リーダーに従う、テリトリー（縄張り）を守るなどの習性をもっているため、人間の良いパートナーとなってくれたのでしょう。

最近 は、都会では屋外で犬を飼うことが多くなってきました。室内で飼うことも多くなってきました。そして、過密な都会での犬の飼育方法をめぐって、近隣公害が問題になっていきます。おりやさくに閉じ込めることなく、人間と行動をとともにし、助け合って生きてきた時代からみると、犬にとっても住みにくい世の中となりました。

ところで、正月の遊びにつきまの「犬棒カルタ」——あの「犬も歩けば棒に当たる」はどういう意味だと思いませんか。本来は、「出歩けば災難に遭う」ということです。しかし最近、歩き回ればチャンスに会えると解釈する人が多いとか……いずれにしても、今年はいいチャンスを確かみたいですね。



よう きなせったね

根小屋 栗林 千枝子さん

新年 明けましておめでとうございませう。
 私は、昨年六月より西山町から和島村に嫁いできました。
 高校卒業後、都会で二年専門学校を出て、出雲崎町の「やすらぎの里」で寮母として三年、そして今、一度も経験のない「酪農」の仕事、家族の一員に加わって仕事をさせて頂いています。
 さて、和島村に来て早くも半年がたち、私にとって初めてのお正月を迎えます。我家は、山の中なのでとても自然にかこまれています。家からみえる牛の姿、ちよつと味わえない村民の皆さん。ご気軽にあしをのばして来て下さい。都会には都会の良さ。田舎では田舎の良さがあります。
 私にとって 住み慣れたここ、

ふる里新潟を選んだわけですが、これからは村民の皆様のお力と共得て、ふれあって、出逢っていきたいと思います。
 それから、国道一一六号線バイパスの早期完成が望まれ、良寛の里と知られる和島村にとって、ますますの発展も期待させられます。最後になりますが、近くを通ったさいには、気軽に声をかけて下さい。まだまだ右も左も分からない私ですが、どうぞよろしくお願い致します。



東北電力ホームコンサルタント講習案内

(あなたもステンシルを楽しみませんか)

- 期 日 平成6年1月13日(木)
- 時 間 午後1時30分～3時30分
- 会 場 東北電力(株) 燕営業所3階
- 募集人員 15名
- 参加料 無料
- 内 容 ステンシル(布などに型枠で色を塗りアイロンで仕上げる)
- 申し込み 平成6年1月10日(月)まで
東北電力(株)燕営業所お客さまサービス課
TEL 66-3256

人口の動き

11月末人口	
人 口	5,438人 (+5)
男	2,640人 (+2)
女	2,798人 (+3)
世帯数	1,275世帯(+1)
	()内は前月比





年頭のご挨拶

和島村長 清野 精合

明けましておめでとございます。皆様ご健勝で新年をお迎えになりましたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は国の内外を通して激動のでありました。国際交流が益々進む中で塀を立てて独り喜しとすることは不可能であり、孤立化は絶対に避けなければならぬとされ、益々交流の頻度が密になると同時に個々の主張も尊重されるべきです。

年末俄に迫られたウルグアイラントも調整案を受け入れざるを得ずコメの部分開放が決定いたしました。明日からの農業政策、特に中山間地農家に対するものと、六年後の再協議をふまえた政府の一貫した政策が緊急立案されるべきと考えます。

国内的にはこれまた嘗てない政治情勢の大変動が起こりました。前々年から持越された政治資金規正面から政治改革論議が繰返され、その論議の行きつく処政府不

信任から解散への途を辿り七月の国会選挙前後を通じた政党の離合集散の結果戦後続いた保守政権が崩壊し保革連立の政権が誕生致しました。この政治環境の中に経済は低迷、景気不振は一向に上向かず冷害気味の天候は遂に戦後初めての凶作となってコメ部分開放へも連動することになりました。

当然景気不振は国税の減収となり平成五年度も前々年に続いて地方交付税の減額という事態となりました。

さてこのような背景をふまえながら村政は村民各位の英知に支えられながら堅実に進展し、予定の成果を挙げていけると考えます。

生活環境整備を重視する政府の方針もあって村内の公共下水、集落排水の二系統工事も順調に進み昨年の島崎地区における公共浄水センターに続いて本年中には桐原地区の集落排水処理場が完成し関係地域の供用が開始され、公共下水も認可区域の拡大をはかる為の実施計画をたてることとなります。

三年前から進めております桐原地区の補場整備も本年から全面工事に入ることになりました。きびしい農業情勢の中で実施を決断された農家各位も今日のコメ開設に関連した一層の改革が推進される実態に即した英断があったと私は感じます。

昨年九月に起工した新庁舎工事にも近隣民家や来庁の皆様に御迷惑をかけながらも順調に進み本年十一月末には予定通り完成することになります。

造成した住宅団地も完買直前となり既に新築家が建ちつつあります。

御寄附による彫刻を主体とした菊盛記念美術館も五月二十日の竣工開館予定日を目前に控え、その整備が着々として進んでおります。

きびしい状況の中で楽しく明るいニュースもあります。

遺跡発掘で中断していた一一六号パイパス工事も再開することになりました。

八幡林遺跡も発掘が終了し昨年その概要が公開説明された処ですが、本年中には国の重要文化施設として保存の指定が為されるものと期待しております。

秋篠宮妃殿下が御来臨されたこ

とに鑑み妃殿下の「お印」である桧扇あやめを美術館の庭園に記念として植栽することに致しました。長岡市を中心とした十三市町村地域に拠点都市域としての指定が為され、本年から活発な連帯組織の結成、事業促進の諸々の企画が計画されています。

きびしい世相ではありますが心に明るい風をともしながら、自然に優しい環境保護保全について特に村民各位に理解と協力を得て、良寛の心を心とした「ふれあいわしま」を創出していきたいと考えております。

どうぞ村民各位の一層のご理解とご協力をお願いし、併せて皆様の御健勝をお祈りして新年のご挨拶といたします。



新年のごあいさつ

和島村議会議員 山田 忠

明けましておめでとございます。村民の皆様方におかれましては、輝かしい新年を迎えられ、益々のご繁栄に対し、心からお慶びを申し上げます。

皆様には、平素より村議会に格別のご理解をいただき、また絶大なご指導ご協力を賜り、誠に感謝申し上げます。

さて、ここ数年は、国の内外にわたりまことに変化が激しく、いずれも日本の政治に大きく影響を与えてきております。

国内におきましても、三十八年間続いた自民党にかわり、細川連立内閣が発足し、政治改革と経済対策に取り組んでおります。

昨年の稲作は、全国的に長期にわたる低温冷夏を原因とした冷害で、今までにない史上まれにみる記録的な不作となり、米不足は深刻な問題となっております。当村の作況指数は十月時点で八十七パーセントであります。

米の関税化につきましては、部分開放となりましたが、日本の農業と食糧政策をどうするのか、これは国民全体の大きな問題であります。

このような時期においてこそ、作業がし易く、高能率な農業基盤の整備が必要であります。当村では幸いにして「県営圃場整備事業」が着々と進んでおります。

農業後継者、高齢化社会を踏まえての住民福祉、人口減への歯止めと定住など、難問題が山積しております。

政府では経済不況による税収が減少し、歳入不足による影響が、地方交付税や補助事業に現れて来ることが予想されます。

しかしながら、新年度では下水道事業、オートキャンプ場を継続し、新庁舎と保健センター、菊盛美術館が完工します。

懸案であります国道一一六号パイパスは工事が再開されます。八幡林遺跡の保存、郷本川改修の促進も進んでおります。

私も議決機関といたしましては、常に皆様と共に、こころ豊かで住み良い村づくりの実現を目指し、皆様の期待にお応えできましよう、決意を新たにしております。どうか本年も変わらぬ皆様方のご支援助とご協力を賜りたく、お願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

首都圏ふるさとわしま会会長 小林 金 二

明けましておめでとございます。御健やかに新春をお迎えのことと存じます。

昨年十一月七日(日曜日)正午より、「原宿駅前南国酒家」にて、「第十三回首都圏ふるさと・わしま会総会」並びに、語り合う会が開催されました。

当日は村当局より、清野村長をはじめ山田村会議長、小谷松農協理事長、加勢副理事長、星商工会長、村役場の職員の方々、一般参加の御出席を戴きまして、昨年、一昨年に増して盛会に由来しました事は、此れ一重に村長をはじめ皆様方のおほねおりのたまものです。

毎年の事乍ら、新米コシヒカリとお酒等を戴き、広報の紙面を拝借致し報告と御礼を申し上げます。次第で御座居ます。今年は特に、東京都北区新潟県人会の佐渡おけさ、相川音頭など踊りの応援を戴き、其の外会員皆様、のどに自信のある方々、踊られる方々等例年になく盛り上がりました。二時間二、三十分の本当に楽しい歓談の一刻でありました。

先日新潟県人会の拡大会議に出席致しましたが、在京県人会の中

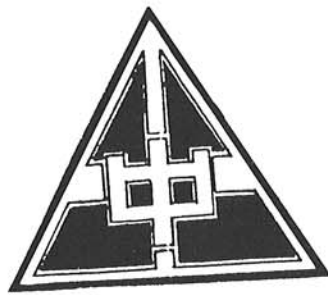
でも一番大勢の入会者、団結力では、他県より優れていました。新潟県人会でも、東京で生まれた二世三世の役員さん、会員さんという現状です。

「ふるさととは、遠きにありて思ふもの」こんな句もありました。私共が東京に出てきたころは、朝は暗い四時頃起きて六時頃分頃かの汽車にのり、夕方暗くなった六時か七時頃東京についたのですが、十二、三時間もかかったので、我がふるさととも遠いものだなと思いました。現在では、新幹線です。三、四時間です。それだけにふるさとという意識が薄らいでいるのではないのでしょうか。

毎年私共、如何にしたら会員さんの出席数を増やす事が出来るかが、今や永遠のテーマと言っても過言ではありません。

私共も一生懸命に努力致しております。ふるさとの皆様もこんな楽しい会が催されていることを、首都圏にお住まいの皆様にお伝言をお願い致しまして郷土、和島村の御繁栄と益々の発展と併せて、皆様様の御多幸を御祈り申し上げます。

北辰中学校



創立40周年

北辰中学校は、昭和29年1月に開校して以来、今年で40年の尊い歴史をもつ、名実ともに充実した中学校として現在に至っています。

これまでに、卒業生は5,026人を数えるに至り、現在村内外の各分野で活躍しています。

40年という節目の年、創立40周年記念式典が11月6日(土曜日)北辰中学校体育館で行われました。

式典には、多数の方々が出席され盛大に行われました。生徒代表の「よろこびのことば」や記念音楽会での全

員合唱、樽ばやしで、式典がさらに盛り上がりました。

また、記念事業として、普通教室に29インチテレビと、ビデオデッキ、食堂に40インチプロジェクションの大型テレビが入りました。その他CDラジカセ、ビデオカメラ等の視聴覚機器は、三島郡内の中学校では、最も充実したものになりました。

この他に、「記念同窓会誌」や「生徒会記念誌」も発行され、さらなる発展へとつながる確かな足がかりとなりました。



永年勤続表彰



実行委員長挨拶



生徒よろこびのことば



樽ばやし

《備品整備》

1. CDラジカセット……………6台
2. テレビ(教室用)……………6台
3. ビデオ(教室用)……………6台
4. OHP収納庫……………6台
5. テレビ(特別教室用)……………2台
6. ビデオ(特別教室用)……………3台
7. BSアンテナ
8. ビデオカメラ・付属キット
9. コンピューター室用テレビ
10. ビデオテープ



全校合唱

なつかしの旧校舎

～みなさん、覚えていますか?～



北辰中学校



「正誤表」の

発行について

「記念同窓会誌」の正誤表を発行します。氏名、住所、電話番号等にまちがいがございましたら、北辰中学校へ電話でお知らせください。二月末まで切り、三月に正誤表を発行する予定です。
電話番号 七四二〇三八番

「記念同窓会誌」の

注文について

四十周年の「記念誌」と「同窓会名簿」が合本になった「記念同窓会誌」が、まだ学校にあります。一冊千円で販売いたしますので、ご希望の方は、北辰中学校へ電話でお申し込み下さい。

北辰中学校より



十一月七日、東京原宿の南国酒家で「首都圏ふるさとわしま会」の総会が開催されました。

当日は、百名ほどの会員の方が出席され、村からは村長、議長をはじめ、農協、商工会の代表など九名が出席しました。

総会では、小林会長のあいさつから始まり、村長より村の様子が報告され、会務報告のあと、懇親会に入りました。

故郷を離れて数十年たつ方たちにとつて、毎年行われるこの総会は、楽しみの一つなのでしょう。遠く離れていても、心は和島村民の心を持ち、いつまでも私たちが応援してくださるでしょう。



もちつき大会

花ざかり

～桐島小学校～

12月3日、PTA役員さんや和島村農協の皆さんの協力により、もちつきが行われました。

今まで2つだったうすを6つに増やし、みんな大喜びでした。



おらがむらの 出来事

～剣道教室～

12月12日、剣道教室の子供達は今年最後の練習を終えた後、父兄や先生方と一緒にもちつきを行いました。

小さな体に10コ、15コと沢山のおもちが入ったようです。



～保育所～

11月26日、保育所で行われたもちつき大会には、10人程のおじいちゃん、おばあちゃんに参加され子供達の大きなかけ声にこたえるように一生懸命もちをついていました。



村おこしツアー

11月20日～21日、第四回目の「青年夢来おこしツアー」が行われました。

今年は第1回目に訪れた長野県木島平に行き、今回は参加者も多く、大型バスのツアーとなりました。

メンバーも多少変わり、ふれあいを求める信州のそば作りとなりました。そば粉にまみれ、みんなグループで一生懸命自分達のそばを作り、食べる時には、「おいしい、うまい」の一言でした。そしてバスの中やホテルでの出来事も笑いあり、涙ありの感動の2日間でした。



青年夢来



今年も車イスをプレゼント

十一月一日の「生涯学習フェスティバルinワシマ」に参加した青年夢来。チャリティーイベントを企画し、参加したわけですが、このイベントで得た収益金で昨年に続き車イスを購入し、村社会福祉協議会へ寄贈しました。



気を付けて 見えない角に 小さな手

「まさか」より「もしも」のために まずベルト



こころの情報発信～良寛 ⑤

身久しう故郷なる長岡をもと
者須な利ね類乎、古どしはお
やの者可まう天可て良む可し
能友をもと者ま本しう、卯月
九日といふおもひ立天ま可
でぬ。(中略)

年久しう故郷なる長岡をもと
者須な利ね類乎、古どしはお
やの者可まう天可て良む可し
能友をもと者ま本しう、卯月
九日といふおもひ立天ま可
でぬ。(中略)

つ可多よりそこ尔まうで、何
くれと聞之可者し、子の時者
可り可へるさに、ふと見あぐ
る尔し能空、いとあ可く見由
古者あやしといふ尔、人々も
遣に古者火事ならん、さ礼ど
見可年の音も聞え祢ハ、知可
き所尔てはあらし可しといひ
や三て、皆知に入天や春み
ぬ。(中略)

本どよ利火天、四ツ屋とい
ふ所までや違多りたし可尔
承ハ利ぬ (以下、略)

長岡の親の墓まりの帰途、知
り合いの高頭家に乞われるまま一
夜を明かすこととした貞心が、そ
の明け方に自分の庵室が焼失しよ
うとは。
急いで向かう柏崎も、近づくに
つれて焼け跡から昇る煙と、火事
場特有のこげた匂いがはつきりと
感じてきます。

村長室の黒板から

和島村長 山生 啓

十一月十九日―二十日 区長研
修旅行に同行長野県内視察 二日
目は県商工労働部長来管の為帰村
二十四日 三ヶ町村土木委員会
二十五日 午前水道企業団管理
者会議 午後越後線整備促進協
会が吉田町で開催される
二十六日 全国治水事業大会の
為上京
二十九日 県治山林道協会総会

三十日 全定住協会役員会陳情
十二月一日 全国町村会並に関
連全国大会行事の為三十日迄在京
四日 水道企業団管理者会議
六日 水道議会全員協議会
七日 山口久一さん敬老訪問
和島、出雲崎両町村議員協議会
八日 出県、新定住事業陳情
九日 年末区長会
十日 金沢北陸農政局へ陳情

年末雑感

十二月 少年剣道教室納会
十四日 荒巻、根小屋老人クラ
ブ

春以来激動続きの年であった。
天候は春以来冷害気味で稲作注
意報が連日のように発せられた。
七月には国会選挙が行われ、細
川首班による連立政権が誕生し、
戦後続いた自民党保守政権にピリ
オドを打つことになった。政治改
革が、景気浮揚対策が論ぜられる中

で師走に空のしその何れもが五里
霧中、師走も半ばを過ぎようとし
ている。
凶作による緊急輸入と併せて、
コメ部分開放が今決定されようと
している。開放によって死活が迫
られている農業、特に中山間地の
農家への政策明確化を早急に願
いたいものだ。
円高によって輸出が激減し産業
の衰退企業縮小整理から失業増加
更に株価の暴落も景気不振に輪を
かける結果となった。

これらの悪条件が重なる中で村
の本年度計画が予定通り進捗出来
たのも村民各位の御理解と議会の
御協力によるところであった。
師走もなかなば過ぎた十六日、
庶民宰相田中元総理の訃報に接す
る、謹んでお悔やみ申し上げます。
先行き不透明のまま越年の模様
であるが、本年のきびしい情勢を
ふまえ来年の戌年を晴れやかな年
にしたいと念願しつつ村民皆様の
御多幸をお祈りします。

あなたからの ラタ Lata (たより)



年末のジャンボ宝くじやお年玉
つき年賀はがき、和島商工会の福
引きなど、年末年始のささやかな
楽しみの一つです。当たるはずは
ないとわかっていても、心のどこ
かで、「もしかして」と期待をい
だきます。そして、やっぱりダメ
だったかということになります。
それにしても、世の中には、一億
円当たる人もいます。宝くじは、神
様はえこひいきをしているのでし
ょうか。

「宝くじ」は、めったなことでは
当たりません。なぜなら、「多
空くじ」(空くじが多い)なので
すから。

「宝くじで一億円当たる確率と、
交通事故に会う確率とでは、どち
らが高いか？」という問題を聞く
ことがあります。空くじを何枚買
うのか、交通量はどれくらいかな
ど、条件の違いによって確率も違
ってくるでしょうから、「〇〇で
す」と断定することはあまり意味
のないことだと思います。ともあ
れ、一億円当たる人がいる一方で、
交通事故に会う人もいます。一方
から、人間の幸福には、運命の糸が
あるのかも知れません。

犬も歩けば棒にあたる

上桐 小黒 知也さん

世の中には、「運のいい人」、
「強運の持ち主」と呼ばれている
人もいます。それと同様、「運の
悪い人」もいます。宝くじに当た
らないと、自分のことを「運の悪
い男(女)」と決め込んでしま
がちです。しかし、交通事故に遇
わないだけ、「運がいい」と思
うことも大切なようです。宝くじに
は当たらないけれども、交通事故
にも遇わない。平凡凡なようで
すが、人生はこれでよいのではな
いでしょうか。「宝くじ」よりも
「多空くじ」の生き方が長寿の秘
訣かも知れません。

が、新春から、「一寸先はやみ」
では、行く先希望が持てません。
いぬ年には、やはり、「犬も歩け
ばくじ」がふさわしいようです。
ところで、この「犬も歩けば棒
にあたる」には、大きくわけて、
二つの意味があります。小学館「こ
とわざ辞典」によれば、
①何か物事をしようとする者は、
それだけに何かと災難に会うこと
も多いもの。②積極的に行動
しようとする、わけもなく犬が
棒で打たれるように、損な目に会
うことが多いということ。

②たとえ才能や運がなくても、何
かやっていると、思いもよ
らぬ幸運に会うこともあるの意。
また単に、出歩けば意外な幸運に
当たることもあるの意にもいう。
ということ。①のわざわざい
が本来の意味のようですが、今は
②の幸い説が流布しているよう
です。

さて、いぬ年のこの一年。読者
の皆さんは、何に当たるのでし
ょう。
幸運をお祈りいたします。

《県からのお知らせ》

新たに主任児童委員が委嘱されました。

出生率の継続的な低下などに伴い「健
やかに子どもを生み育てる環境づくり」
が、社会全体の課題となっています。

そんな中で、これまでの児童委員の活
動をバックアップし、子育て相談等
地域における児童や家庭の福祉を推
進する人材として、平成6年1月1日
主任児童委員が設置されました。

お子さんの問題や児童の健全育成活
動などについて、身近な児童委員や
主任児童委員にお気軽にご相談くだ
さい。

主任児童委員
若野浦 関川百合子 74-3047



明るい家庭づくり運動作文

和島村青少年育成村民会議
和島村教育委員会



なつきのめんどうをみてること



島田小学校一年 たむら ゆきこ

わたしには、いもうとが二人います。なつきは、わたしのいちばん下のいもうとです。一さいです。
わたしは、まい日、おかあさんがおりようりをしているとき、なつきのめんどうをみます。おかあさんがおりようりをつくっているあいだ、なつきのことをみれないからです。だから、わたしが、ミルクをやったり、おしめをかえたりしてあげます。
なつきは、おなかがすくと、ギヤーギヤーなきます。ときどき、ほにゆうびんを、ゆびでさすこともあります。そうすると、ミルクがほしいんだなあと、わかります。
ミルクは、おかあさんがつくってくれます。わたしは、なつきをだっこして、ミルクを、あげます。なつきはおもいけど、ちっともいやじゃありません。なつきは、ミルクを、チューチューとおいしそうにのんでくれます。わたしは、うれしくなって、また、ミルクをあげたいなあとおもいます。
そろそろ、おしめが、ぬれたかなあとおもったら、なつきのズボンに、てをいれて、おしめを、さわってみます。そして、ズボンをおろして、おしめがいろいろくなっている、かえてあげます。
おしめをかえてあげるとき、なつきは、じぶんでおしめをもってきます。わたしは、なつきを、たたせたままで、おしめのテープをビリビリとはがします。あけてみると、おしっこをいっぱいしています。

あたらしいおしめを、あててあげるとき、なつきは、にげてしまつて、なかなかあてさせてくれません。わたしは、はしやぎまわっているなつきを、すぐにおいかけてつかまえます。だいどころににげていくと、おかあさんがつかまえてくれます。
おしめを、あててあげると、なつきは、とつてもうれしそうなおおをします。わたしもうれしくなります。よごれたおしめを、おふろばにおいてあるバケツにいれてしごきは、おわりです。
それから、わたしは、なつきといっしょに、テレビを見たりしてあそびます。
ある日、おかあさんが、うれしそうに、
「ありがとう。」
といっていないでいました。そして、おとうさんがかえってきてから、わたしのことをはなしました。おとうさんは、なつきに、
「おねえちゃんからめんどうみてもらって、よかったね。」
といってくれました。わたしのことも、
「よくがんばったね。」
といつて、ほめてくれました。わたしは、うれしかったです。これからも、なつきのめんどうをみてあげたいです。

三八の市でいもごりをしたよ



島田小学校二年 小林 みか

「おばあちゃん、わたしたち、三八の市にいもをうりにいくんだよ。きてね。」
学校の生かつの時間に書いたちらしを見せながら、おばあちゃんに、話しました。
「何をうるの。」
「すずかけのうじょうで作った、さつまいもと里いもだよ。」
「じゃあ、いつてみようかね。」
夜、おとうさんとおかあさんにも、三八の市に行くことを話しました。
「おとうさんとおかあさんは、しごとでいけないから、おばあちゃんに行ってもらおうね。」
「がんばって、うってこいよ。」
と、おとうさんが、言ってくれました。ふとんに入っても、「早く、八日の月曜日にならないかな」とか、「みんな、うるるかな」とか考えながら、三八の市に行くのがたのしみでしかたがありませんでした。

おかあさんとおばあちゃんのおりようり



桐島小学校一年 さき川あきひろ

ぼくのおかあさんとおばあちゃんは、いつもおいしいおりようりをつくってくれます。いつも、ぼくのすきなものをいっぱいつくってくれます。カレーやシチューやハンバーグ、おでんやいろんなものをつくってくれます。おりようりをつくってくれないことなどありません。
ぼくは、おかあさんとおばあちゃんにつくってくれるおりようりの中で、シチューが一番大好きです。シチューには、うずらのたまごや、ジャガイモ、たまねぎ、コーン、ブロッコリー、グリーンピースなど、とてもたくさんのおいしいがはいていて、とてもおいしいです。ぼくは、ブロッコリーがすきじゃないけど、シチューの中のブロッコリーはとてもおいしいです。どうしてかなあと、ふしぎにおもいました。
ぼくは、おかあさんに、
「シチューって、どうやってつくるの。」
と、ききました。
おかあさんは、
「シチューは、いろんなやさいやおにくを、一口ぶんぐらいの大きさにきつて、いためてから、コトコトとにるんだよ。」
と、おしえてくれました。そして、
「やさいをたくさんたべてもらえるように、いろんなやさいをいれているんだよ。」
と、いいました。

わたしのびきんご



桐島小学校二年 小林 あつみ

と、いいました。
ぼくは、おかあさんとおばあちゃんが、ぼくのために、やさいをたくさんいれているなんて、ぜんぜんしりませんでした。おりようりができると、おかあさんも、おばあちゃんも、
「いっぱい、たべるんだよ。」
と、いいますが、ぼくにじょうぶで、大きくなってほしいから、いうのかなと、おもいました。
シチューには、やさいやおにくのほか、おかあさんとおばあちゃんのところもはいつているから、ブロッコリーもおいしくなってしまうんだとおもいました。
こんな、すごくおいしいおりようりをつくってくれるのは、おかあさんとおばあちゃんだけです。ぼくは、すききらいをしないで、なんでもたべて、じょうぶなからだにしたいとおもいます。どんどんたべて、大きくなりたいとおもいます。
それから、いつもおいしいおりようりをつくってくれる、おかあさんとおばあちゃんのおてつだいをしたいとおもいます。ぼくは、ちやわんやさらをあらいたたいとおもいます。
おりようりをつくっていると、ところも見てみたいです。
おかあさん、おばあちゃん、いつも、おいしいおりようりを、ありがとう。

わたしの家ぞくは、八人です。まい日しごとに行く人、学校やうち園に行く人がいます。日よう日でも、おじいちゃんやおとうさんは、しごとに出ていきます。月一回ぐらい、八人ぜんいんがそろいます。わたしは、ぜんいんがそろったときにはうれいします。
わたしは、いつもふろそうじのお手つだいをします。休みの時には、ふだんよりもよけいにお手つだいをします。
おじいちゃんには、はいぎらをもつて行きます。おばあちゃんには、はたけに行つて草をとったり、なすをもいだり、きゅうりをもいだりするお手つだいをします。
おかあさんには、ふくをたたんだり、しよくじのお手つだいをしたり、しよくじはりするとき、古いかみはがしをしたりします。おとうさんには、さきようじょうをかたづけたり、車の中をかたづけたりするお手つだいをします。
わたしは、小さなことでも、できることはなんでもお手つだおうと思っています。しか

いよいよ、きょうは、まちにまった三八の市の日です。わたしは、「うまくられるかな。」と、まだ、どきどきしていました。三八の市のぼしょにつくと、先生が、「二年生がうるばしよは、ここです。」

と、言いました。わたしは、「いよいよだな。」と、思いました。ナップサックの中から、いもをとり出しました。「用いできた組から、うっていいですよ。」

と、言ったので、わたしは、うりはじめました。「かっってください。」

「いらっしやい、いらっしやい。」みんなも、元気よくうりはじめました。さいしよのおきやくさんは、百五十円の里いもをかってくれました。あとから、わたしのおばあちゃんもきてくれました。わたしは、「もう、さつまいもしかないよ。」

と、言いました。わたしのおばあちゃんは、おいしそうないい、いもをえらんでかっけきました。さい後の人は、のこりのさつまいもをぜんぶかっけくれました。うりおわつたら、ほかのみせの人のくふうを見つたり、インタビューしたりして帰りました。

家に帰ると、おばあちゃんが、ふかしいもを作っけくれました。「これ、三八の市で、みかたちがうつたいもだよ。」

と、ほかほかのいもを出っけくれました。家ぞくみんなは、「また、たべたいね。」

「また、何かうりにいく時は、かいにいくよ。」

と、おいしそうにたべてくれました。わたしは、三八の市で、すぐにいもがうれたこと、市でひらくおみせの人が、朝の六時にくること、いせいのいい声でうって話を話しました。みんなは、わたしの話をきながらうれしそうにいもを食べていました。



空かんひろい

島田小学校三年 八子達也

ぼくは、村のかんきよう美化うん動が始まっけからずつと空かんひろいにきよう力しています。今回は、おじいちゃんで行く事にしました。おじいちゃんは、前の日に田んぼに行っけ仕事をしていたので、ぼくは、おじいちゃんに、「どうしてつかれてねていたのにきたの。」と聞きましました。すると、おじいちゃんは、

「もうつかれたの。おじいちゃんは、だじようぶだよ。」と答えましました。ぼくは、「おじいちゃんもがんばるんだから、ぼくもがんばろう。」と思ひました。さつそく外に出で、落ちていないか、さがし始めましました。なかなか見あたりません。ぼくは歩いてるうちに、だんだん足がしびれてきました。

「おじいちゃん、もう足がいたくなつたよ。」と、言ひました。おじいちゃんは、

「もうつかれたの。おじいちゃんは、だじようぶだよ。」と、言ひました。おじいちゃんは、

「もうつかれたの。おじいちゃんは、だじようぶだよ。」と、言ひました。おじいちゃんは、

「もうつかれたの。おじいちゃんは、だじようぶだよ。」と、言ひました。おじいちゃんは、

とおじいちゃんも言ひました。そして、空かんをひろいはじめましました。とるのにくろうましました。空かんの中にとろ水が入っているのもありましました。おじいちゃんが、水をあけて、空かんをふくろの中に入れました。ぼくも一つずつ空かんを持っけ、水を出してふくろに入れました。おじいちゃんと、ぼくは、ふくろの中がいつぱいになつてきたのでアルミかんだけ、足でつぶしましました。空かんが、手で持ちきれないほど、いつぱいになりました。おじいちゃんのふくろは、ぼくのよりもすくいつぱい入っていました。ぼくよりも先にすばやくひろうからです。ふくろいつぱいになつた空かんを持っけごみすて場に持っけ行きました。山のようにたまりましました。家に帰つたら、ぼくの足は、もうくたくたで歩けませんでした。おじいちゃんは、ちつともつかれていないようでした。おじいちゃんは、わかい時、山から木を切つては、木をかっけ、道に出していたようです。だから昔から、足をよく使っているの体力があるんだなあと思ひました。空かんひろいは、朝早く起きなければいけないので、少しつらいけど村がきれいになるのでがんばつてつづけていこうと思ひます。おじいちゃんは、さいきん車にのるのが多いので歩くことがあまりなくなりました。歩くことは、とても体にいいのでいつしよに歩いてあげたいと思ひます。そして、いつまでも、長生きしてきれいな村にすませてもらいたいと思ひます。

し、ふだんは、ならいものやしくぐぐいがあるの、あまりできません。だから、休みの日、手つだいをしてよかつたなあと思うことがあります。おとうさんがおかあさんに、「早くしないとあそびに行けなぞ。」

と、言うのを聞いて、わたしが手つだつて、おかあさんのしごとを早くおわらせようと思ひました。やっぱりおかあさんひとりでするよりも、わたしが手つだつたら早くおわりました。おかあさんに、「あつみが手つだつてくれたので、早くでかけられるね。ありがと。」

と言われ、いいおもいをしました。

わたしは、本をよんだり、かるたやカードをしたりしたあとのかたづけや、へやのそじなどをおにちゃんやおとうとといっしよにやります。そうすると、かたづけやそじが早くおわります。その上、ひとりでするよりもらくです。

わたしは、これからも、できるだけお手つだいをしようと思ひます。ひとりでするよりも大せいでするほうがよいときには、おにちゃんやおとうとに手つだつてもらつてやろうと思ひます。



元気になあれ！じいちゃん

桐島小学校三年 早川紫乃

わたしのじいちゃんは、病気で体が思うように動けません。四年前から、ずうつと家でねています。それで、じいちゃんの世話は、ばあちゃんやお母さんが中心になつて、家族みんな、面どうをみています。わたしの手つだいは、ジュースを飲ませたり、おかしを食べさせたりすることです。

わたしが、「じいちゃん、おやつ時間だよ。どうぞ。」と、いうと、じいちゃんは、わたしの方を向いて、口を開けておいしそうに食べます。ときどき、こぼしたりするので、口のまわりをふいたり、ひろつたりしてやります。じいちゃんは、お話はしませんが、うれしそうに顔をします。

わたしも、すくうれしくなりました。じいちゃんの一番の楽しみは、おふろに入ることです。毎週火曜日になると、お母さんが車にのせて、グリーンヒルよいたまで、おふろに入りにつれています。

わたしも、夏休みにいつしよについて行つたことがあります。ここから、グリーンヒルまで車で二十分くらいかかります。ちよつと高い所にあるので、けしきのいい所です。中へ入ると、とても大きくて、きれいでした。リハビリをするきかいたくさんありましました。

男の方やかんごふさんが大せいいそがしそくに働いています。じいちゃんがつくと、すぐに、車いすをもつて、むかえにきてくれます。

「元気ですか。」と、やさしく声をかけられます。

そこで、リハビリをします。動かない手や足を曲げたりします。とても、いたそうです。「がんばつてね。」と、心からはげまします。お登ごはんを食べると、いよいよ、おふろです。大きなふろなので、ねたままで入れます。

男の人が、二人がかりで体をきれいにあらつてくれます。じいちゃんは、ふろから上がつてくると、「ああ、さつぱりした。いい気持ちだよ。」と、笑顔でいいます。

グリーンヒルには、体の不自由な人たちがたくさんいます。じいちゃんよりも、重い人もいます。そうした人達がよるこんでくれる仕事をしてる人は、すばらしいなあと思ひました。また、そこにはたらいにいる人は、たいへんだなあと思ひました。

わたしも大きくなつたら、困っている人たちのめんどうをみてあげる仕事をしたたいと思ひました。じいちゃん、それまで元気でがんばつてほしいと思ひました。

わたしが、ずうつとめんどうをみてやります。





わたしのおばあちゃん

島田小学校四年 布施 佐恵子

わたしの家には病気のおばあちゃんがいいます。医者に行ったら診察を受けても、なかなか治りません。目の医者、耳の医者もだめ。今のおばあちゃんは、いくら薬をぬったり、飲んだりしてもなかなか治らない。そんな時わたしは、体の弱いおばあちゃんに、「もう、あっち行ってよ。」とか、「そこでも何してるの。やめてよ。」とか、いろいろもめごとをおこしてしまいます。それは、二年生の時も、三年生の時も同じことのくり返し。ついついそれがくせになって言ってしまう。四年生になった。それでもまだ三年生の時のくせは、まだつづいている。そんなある日、わたしが算数の計算問題をしていると、「早く終わらせて手つだいをしてくれや。」と、そばに来て、くりかえします。そうすると、む中になって計算をしているわたしには、とてもそれがじゃまになってしまっ、思わず、「やだなあ、あっち行ってよ。」とさげんでしまいました。おばあちゃんの顔が悲しそうに、しずんだ顔になっていた。わたしがあやまろうとした時には、小さなかたをがくと落として、しょんぼりとわたしからはなれていった。

こんな事があってから、わたしはどんどん心配になってきた。こんなに体が弱いのにシヨックを受けたら…。なんて思ってしまった。昔、お母さんの仕事がいそがしい時、働いているお母さんの代わりにおしめを変えてくれたり、おふろで体をあらわってくれました。ごはんの時は、一口一口はして口に運んでくれました。わたしがいじめられた時は、「よし、よし、泣かないや。」と言ってかわいがってくれたおばあちゃん。ようち園のバスに乗って帰ってくるとおばあちゃんわたしを茶の間で待っていた。そして必らず、「ようち園で今日は、何してきたや。」とやさしく笑いかけてくれた。かぜをひいた時なんかは、早く治るようにと食べ物運んでくれました。赤ちゃんの時ようち園の時、小学校の一、二年生の時わたしには、いなくてはならないおばあちゃんでした。一生けんめいわたしを世話してくれたおばあちゃん。そんなことを考えながら、「こんなにいつもおばあちゃんにもんくを言っていたらかわいそうだ。」と思った。

次の日から、おばあちゃんを大事にするようにがんばった。でも、三年生の時のくせが時々出てしまって悪かったかもしれない。大きくなって力がついたので、ついつい、力の弱くなったおばあちゃんを低くみるようになっていたようです。気をつけていきたいと思ひます。おばあちゃんを大事にすることを始めてから、おばあちゃんが悲しむ気持ちがわかるような気がする。おばあちゃん、これからは気持ちよく、手つだいをします。長生きしてね。



母のよひになりたい

島田小学校五年 小林 春美

「寒くなってきたから、私も自分のセーターを編んでみようかなあ。」ある日、私は、母にそんな話を話しかけた。母は、私の出番だと言う顔で、「じゃあ、基本をしなければね。基本と言っても、表編みとうら編みの基本があるんだよ。」と言った。母は、笑顔で言ってくれたが、私の心の中では、「基本編みなんてめんどろだな。どうやるのかな。」と思っていた。そして母が編み方を教えてくれていると中で、私は、「そんな基本なんていいから、すぐに編みたいよ。」と、おこり声で言ってしまった。

私は、いつもそうだ。めんどろな事はきらいだから、すぐにできないと、あきらめてやめてしまう。大事な事でも、いやになるとあきらめてしまうのだ。勉強をしても、最初はやる気があっても、いったんわからなくなるとそこでやめてしまう事が多い。そんな時、母は私に、「わからなくなったら、辞典を引いたり、教科書を見たりしななや。最後まであきらめない事が大事だよ。」と言ってくれる。

どうして、私と母は、こんなにならうのだから。親子なのになあ、と思ってしまう。家での母は、たくさん仕事がある。一番つらそう仕事は、そうじだ。兄の部屋と



十二月二十日のあきない

桐島小学校四年 早川 佳宏

「今年も三十日に、あきないに行くの。」とぼくが聞くと、「ああ、行くさ。」とお父さんが答えました。「やったね。今年もあきないに行けるぞ。」

ぼくの家は、魚を売ったり料理を作ったり売ったりしています。ぼくは家の人の手伝いが好きです。その中でも一番好きなのは、年末のあきないです。ぼくは、毎年あきないに連れて行ってもらうとお父さんたちといっしょに魚やたこ、いか、お正月用の品物を売ってきます。

ぼくとお父さんとお母さんは、松田、明ヶ谷の方へ出かけます。行く時には、車にいっぱい魚を積みこみます。そして、ねだん表をガムテープではり、ビニールのふくろを下げて行きます。魚をわたすのは、お父さんです。お母さんは、計算をしてお金をもらったら、家の名前を書いた紙に金がかくを書きます。これは、帰ってからしよう合するためです。魚が足りなくなると、電話を借りておじいちゃんに持ってきてもらいます。たくさんあった魚がすぐ足りなくなるので、ぼくはすごいなと思ひます。それから家の近くまで売りに行くので、みんなぼくたちのことを待っているだろうなと思ひました。ぼくが毎年、楽しみにしているのは、松田のさへいさんにいただくおいしいおもちです。さへいさんも、ぼくたちのことを待っていてくれるんだなと思ひます。

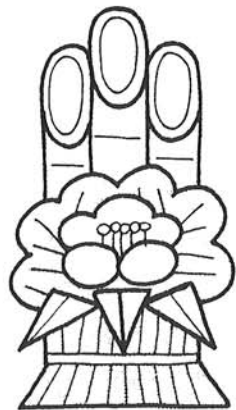
あきないが終わるのは、お昼ごろです。お昼を食べると、吉田へ行き、魚をいっぱい買ってきます。ぼくは、そこでジュースを買ってもらえるのも楽しみの一つです。それに帰りに松はし屋という店によって、お正月の品物をいろいろ買ってきます。その買い物もぼくが楽しみにしている一つです。

ぼくたちがあきないに行っている時、家では、おじいちゃんとおばあちゃんが、店先に魚をならべて売っています。冬は、大変だと思ひます。ぼくは、お湯が使えたらいいと思ひますが、魚がだめになります。だから、これくらいがまんしていい魚を買ってもらうことが大切だと思ひました。

ぼくの家は仕事はすごく大変です。それは、寒い時にもつめたい水の中に手を入れたり、年末は休みなしで働いたりするからです。でも、人のためになる仕事だと思ひます。近くに魚を売る店がないと、遠くまで買いに行かなければなりません。だから、ぼくも

大人になったら魚屋になろうと思ひます。そのために、今のうちにいろいろな事を少しずつ覚えていきたいです。

お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、これから寒くなるし、水もつめたくなるけどがんばって下さい。



家族の働くすがた

桐島小学校五年 早川 良平



ぼくの家は、材木店をやっています。材木店といっても、材木を売るだけの商売ではありません。主に、家を建てる仕事をしています。家を建てるためには、たくさん仕事があります。だから、それぞれ仕事の分たんをしてやっています。

父は、図面を書いてお客様と話合ったり、各職人さんと打合せをしたりするのが、主な仕事です。そのほか、仕事が計画通りに進んでいるか、かんとくをしています。母の仕事は、帳面付け、家事などです。

祖父は、大工さんの材料出しや、材木のひろい出しです。祖母は、工場の周りの片付けとぼく達に新せんな野菜を食べさせるために、畑仕事に一生けんめいです。

その祖母は、六月に、畑で死んでしまいました。祖母が、せつかく残してくれた畑なので、ぼくと兄さんと母で、野菜の取り入れ、草取りをすることにしました。

夏休み中は、朝早くから、きゅうり、なす、ピーマン、かぼちゃもぎをしました。毎日行かないと、すぐにきゅうりやなすが大きくなってしまいました。いっぱい、草も、どんだんのびました。すぐにぬいてやらないと、野菜はよく育ちません。

だから、祖母は、生きている時、毎朝、ぼく達がまだねている間に起きては、畑へ行っていました。ぼくは、今、祖母を思うと朝早くから、暗くなるまで、がんばっていた

私の部屋とお客様の部屋、そして、母と父の部屋をそうじする。私は、大変そうだから、そうじなんてやだなと思うけど、母は、最後まで、いつしよけんめいそうじをする。と中で終わりになどしない。そんな母も、そうじをやるうとする時は、

「あーあ。やりたくないなあ…。」
と言うことがある。こんな時は、私と同じだなと思う。だけど、そんな事を言っても、結局、ていねいに一生けんめいそうじをする。ここが、私と母のちがう所だ。そうじをした後は、

「あー。きれいになって、すっきりした。」

と、気持ちのよい顔をする。やり通した後は、気分がいいのだと思った。

母は会社で服を作っている。やっぱり、母は、会社でも、何にでも真けんに取り組みのかなと思ひ、母に聞いてみた。すると母は、
「お母さんの作っている服は、人に売れる品物だから、真けんによらないと失敗して売り物にならなくなるんだよ。」

と言った。こんな言葉が返ってくると思ってもみなかった。会社でも家でも、いつでも、一つの事をやり通してがんばっている母を、あらためて、すごいなあ、と思った。

私も、母のようになりたい。少しくらいむずかしくても、がんばって一つの事をやり通して、「やったぞ。」と満足するようにしたい。母を見ているとやる気が出てきたような気がする。「よし。セーターを完成させることから、がんばってみよう。」と思っ



音読の声を二人に

島田小学校六年 小林 留美

「音読は、ゆっくりと大きな声で。最後の言葉は小さく言わないでふつうの大きさと読むといい。」

と、祖父がアドバイスをしてくれました。私の音読は、祖父と祖母の二人に聞いてもらっています。私には祖父と祖母がいますが、祖父は病気をして片足が少し不自由です。片手も少し不自由です。だから、草かりなどの仕事をするのがとても大変です。それに血管が弱いので、どこかにぶついたりするとすぐに内出血をし、青くなります。それに手を切ったりするとなかなか血が止まりません。

祖母も目の病気をし、目が悪くて、細いペンなどで書いた字はよく見えません。だから細かい仕事あまりよくできないのです。そんな祖母にしてみらっていることがあります。それは音読を聞いてもらうことで

す。本当は祖父にも聞いてほしいのですが、耳が悪くて聞こえないので祖母に聞いてもらっています。

祖母が音読の点数をつけてくれるのですが、いつもおまけをしてくれます。うれしいけれど、もう少しきびしくしてくれてもいいのになあと思うこともあります。私のクラスでは毎日一回音読練習をするのが宿題です。音読のめあてが達成できた時は二重丸、もう一步の時は一重丸です。今ではおまけの二重丸ではなく、本当の二重丸をつけてもらえるようになりました。

最近、耳の悪かった祖父がほちよう器をつけました。だから私の声もよく聞こえるようになったのです。そして、アドバイスをしてくれるようになりました。

ほちよう器をつけたことでもう一ついいことが増えました。それは祖父と話をすることになったことです。

今までは私が話かけても、

「うん、うん。」

と空返をするだけでちっとも話を通じないのでいやになっていました。でもほちよう器をつけてからはよく話をするようになりました。夕ご飯の時に、家族みんながそろって学校のことを話ながら食べます。ほちよう器をつけた祖父も話に加わり、

「うん、うん。」

とうなずきます。みんながワイワイと話すので、

「声が大きくてピンピンひびいてうるさい。」
と文句を言うようになりました。祖父は片手が不自由なのでうまくほちよう器をはめることができせん。そんな時は私がすすんではめてあげます。きちんとはまらないとピ

ーという音がしてうるさいのだそうです。
祖父は七十八歳、祖母は七十三歳。年もとって身体も不自由な二人ですが、やさしくほめてくれたりアドバイスをしてくれる二人がとても好きです。これからまたのまれた仕事はもちろん、たのまれなくても進んで仕事をするように心がけていきます。

ほちよう器をかけた祖父の耳に、私の音読の声が気持ちよくひびくように、音読の練習を続けていきたい。



んだと感心します。

祖母は、ほんとうに、一日一日を精いっぱい、できる所までがんばっていたんだと思います。そして、新せんな野菜を家族に食べてもらって喜んでもらおうとやっていたんだと思います。そんな祖母に、ぼくは感謝しています。

また、父や母、祖父も同じように家族のために、毎日、力を合わせて助け合っています。ぼくも、母や父などの手伝いをして、家族のためにがんばろうと思います。

まず、ぼくが心がけていることは、祖父が年をとってきて、つかれやすくなってきているので、木を運ぶ手伝いをしてあげたいです。

次に、母の畑仕事をできるだけ手伝いたいと思います。休みの日には、食事の手伝いやそうじの手伝いもやろうと思っています。

最後に、父の仕事は難しいので、手伝いは、なかなかできません。だから、勉強をしっかりやって、喜んでもらおうと思っています。

そして、明るい家庭をつくりたいと思っています。そのために、自分自身、精いっぱいがんばりたいと思います。

ぼくのしょう来の夢は、サッカー選手です。家の仕事は、兄さんがついでしてくれると思います。もし、夢がかなって、サッカー選手になれたら、家族をスタジアムにしよう待たしたいと思います。



家庭の日に行ったりんご狩り

桐島小学校六年 早川 明子

目が覚めたら外はあいにくの雨。

今日は前から楽しみにしていた、家族でりんご狩りへ行く日。せっかく行くのだから雨は絶対に降って欲しくありませんでした。

母と祖母は朝早くからお弁当作り。父は、いろいろと仕事があるようで、とても忙しいのでした。

車に乗って出発してから二時間近く経った頃、スタンドに寄りました。そこで、スタンドの人と話していると、

「長野の方は、こつちの方と反対の気候だから、たぶん晴れていると思いますよ。」
なんてとても嬉しいことを言ってくれました。私は、「そうなのといいなあ。」と思

ました。

実際に長野県に入ると、見事に晴れていました。朝から降っていた雨がうそのように。お昼は景色のいい休けい場で、母と祖母が作ってくれたお弁当を食べました。うまく言葉に表せませんが、とてもすがすがしい気持ちになりました。

お昼が終わって少し車に乗ると、今日の目的地「清水りんご農園」に着きました。農園へ行くと、なんと私達家族だけ、他には誰一人いません。和島村の人だけが「家庭の日」でお休みで、他の人は休日ではないからです。さっそく父がりんごにかじりついて、

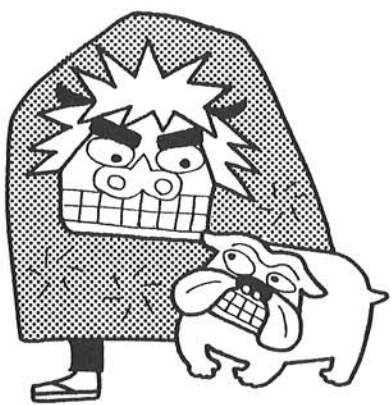
「ミツがたくさん入っていて、あまくておいしい。」
と一言。母は、りんご園を一周、にこにこしながら歩き、祖母は私と一緒に、

「どんなりんごにミツがたくさん入ってるんだろ、うね。」
と言いながらりんごを採っていました。私達はりんご園の方から、おいしくてミツのたくさん入ったりんごの選び方を教えてもらいました。そこで、自分でも採ってみました。ですが、なかなかいいりんごは採れませんでした。「りんご園の方はすごいなあ。一目見た

だけであまいりんごが採れるなんて」と私は思いました。何個か採ったところで終わりにして、親せきの家へ送るりんごのことなどを話しました。そして、帰ろうとした時、りんご園の方から黄色いりんごをおみやげに五ついただきました。

このりんご狩りは、うちの父が三ヶ月の間出張でいなくなってしまうので計画しました。しばらく父と外出できなくなります。だから、今回は県外(長野県)へ家族みんなで出かけたのです。

もしこの計画を立て、一人で行っても全然楽しくないと思います。こういう計画は、家族で行くからこそ楽しいのです。家族で行くからこそ意味がある、私はそう思います。帰りに車の中で見た、きれいな「にじ」は心に残りました。「お父さん、出張先でがんばって下さい。」と心の中でつぶやきました。





我が家の歴史

北辰中学校一年 星由里子

私が今住んでいる家。この家は私が生まれたと同時にできたわけではない。私が生まれる前から栄えてきたのだ。私が知らないいろいろな出来事があるので、この家でくりひろげられてきたのだろう。私は、この作文を書くにあたって、祖父母に我が家の歴史について聞いてみることにした。

祖父がある紙をたなから出してきた。「たしか、これになー。書いてあったな——」。祖父は、ゆったりと語ってくれた。どうやら私の家は今から三百年ほど前から、もしかしたらそれ以前からあったということだ。昔あった倉に「キョウネン」という年号が記されていたという。三百年という中で、祖父母たちも、まだ四分の一ほどしか生きていない。でも、その中でもきつと、いろいろなことがあったはずだ。それを二人は語ってくれた。

祖父母の心に強く残っていたのは、やはり戦争のことだった。聞いている間、本を読んでいるより具体的で、なにか、胸がしめつけられるような、そんな気がした。「たしか、昭和二十年の八月四日に、長岡の身内を訪ねたんだ。ほら、ばくだんの落ちた次の日だな。すごかった。もうみんな燃えちまって、土でできた倉だけがぼつんぼつんと残っているだけだったな。そんな中を必死にさがしたども結局会うことができなかった……。次の日、もう一度行ってみた。そしたら、会えたんだ。ほら、学校の体育館にいたんだ。でもな、そこにいたのは二人だけだった。空襲で亡くなったんだ。

住む家がなくなった二人を、家へ連れて来たんだ。帰って来る途中、もう見られる光景じゃなかった……。まあ、なんと、人が木によりかかって焼け死んでいたんだよ、一



ある日の登山

北辰中学校二年 久住麻貴

「ほら、晴れたぞ。これから登山でもしてくるかあ。」と言う登山の大好きな父の声で登山することが決まった。

その日は日曜日、私も弟も習字を休んでまで登山しようと言う。今日は、母も祖母も朝からいない。だから父・弟・私の三人だけだ。車に乗って弥彦まで行き、神社の駐車場に車を置き、そこからは歩きになる。お金は頂上で休憩する分しかもってはいかない事にした。だから疲れてもロープウェーを使わずに帰るも歩きということである。

駐車場から登山口まで小鳥の鳴き声を聞きながら、三人で歩き始めた。登山口に着いた。登山口にある店の人に、「いつてらっしゃい。」と言われて私達の登山が始まった。登山口から何分もたないうちに、もういやになってきた。でも今日の登山はたまに登る登山とはちよつと違う。それは前の日曜日、父と母の二人で登った時にタイムを計っていたからだ。今日は三人でそのタイムを一分でも縮めようと思いき生懸命がんばって登って行った。「あつほら一合目、一合目が見えたよ。」と弟に言われた時「やつと一合目か。」と思った。そこではタオルで汗をふくぐらいしか時間をとらなかつた。「もう一合目まで来ると楽だな。」と父に言われた時「やっぱり私と弟は体をきたえていないから疲れるけれど、お父さんは毎日きたえているせいで疲れないのかな？」と思った。けれど父の顔には汗がすごくダラダラ流れていた。そして出発した。

一合目から二合目の間と、二合目から三合目の間はそれほどきつなく、すいすいと登って行った。四合目を過ぎたその時、「あつおじさんだろ」と弟が叫んだ。顔をあげるとおじさんが「おはよう。」と声をかけた。そのおじさんは毎日のように登っているの「おじさん今日で何回目？」と聞くと、「千五百回だよ」と言われたので私達三人はびっくりし、今までよりまたはりきって登ることにした。

ついに中間の五合目に着いた。「やつと半分登った。よしあと半分がんばろう。」と思



明るい家庭びん

北辰中学校二年 早川奈緒子

私がお家に帰るころは、ほとんど誰も家にいない。家の玄関は鍵がかかっていることが多く、自分で鍵をあけて入る家は、いつも、なんとなく暗い感じがする。

私の家は、外から、家に人がいるかどうかなんとなくわかる。外から見て、玄関の戸が閉まっている時は、たまに家の人がいるけれど、だいたいは家には人がいない。そういう時、私はいつも家に入る時足が重く感じる。「ただいま。」と言っても返事がないことは、わかっているの、そういう時は、自分

晩でどうしてまあ、こんなに変わってしまったのか……。祖父は、ここまで語ると、なにか考えているかのようにだまってしまった。代わりに祖母が、話を続けた。「二人の他にも、東京からも四人ほど疎開に来ていたんだよ。家族が一度に増えたもんだからねー。やはり食料が足りなかつたねー。だからそのために一生懸命働いたんだよ。生きるために。」そして最後につけくわえた言葉は、「戦争なんかもうしたくないねー」。私はおもわずため息をついてしまった。そのため息は、戦争のむごさに対するものと、戦争の中を生きぬいた祖父母のたくましさに対するものだった。

ふと思った。家の歴史はこうやって教えられ、そして受け継がれていくものではないだろうか。祖父から孫へ、その孫がまた自分の孫、または子どもへと伝えていく。だからこそ続いていくのだ。そして、伝えられたことについて考える、その考えたことも次の世代へ伝える。そうしていく中で、いつか我家の歴史は、想像のできないほどのものになるような気がする。今までこの家で生きてきた人たちの考えが織りこまれた歴史。それを語ることによって、昔の情景がはつきり心に映るはずだ。

私もいつか、我家の歴史を語る時が来ると思う。必ず来る、その時、私はどんなことをまず話そうか。それは、まだまだ決められない。私の生活の中で、その役目をするまでには、まだまだある。その間にもいろいろなことを体験し、それについてまたじっくりと考えたい。そして、いざ伝える時は、私の知っていることをすべて伝えたい。そうして、私の体験したことが一つの我家の歴史になる。

「我家の歴史」の中には、我家に住んだ人々がずっと生きつづけることができるのだ。私もこの中でいつまでも生きつづけたい。そう思った。

つた。五合目まで来ると小さな鳥居がある。そこで三度目の休憩をとり、出発した。七合目まで来ると、山水が流れていた。ここであつた水で顔をぬらし、頂上めざしてまた歩き出した。七合目からは坂や階段が多いので話をしながら登るのはちよつときつい。だから一言もしゃべらずに歩いた。「ねえお父さん、ほら店が見えるよ。」指さす方を見ると売店が見えた。そこからは階段を三人で走った。「やったあ着いた。」と思った時、「ここ頂上じゃないよ。」と弟に言われてがっかり。頂上まであと十分ぐらいで着くという。だから三人でまた歩いた。階段を上っても、上っても、階段はずつと

続いている。もう少しで父と母が登った時間になる。やつと頂上が見えてきた。頂上の前はまたあの階段。階段の前まで来たら、もう父と母のタイムになっていた。だから階段は走った。「ねえお父さん今何分?」「あれ?一分遅かつたみたいだな。」と言われたがっかり。それからお参りをしてあの頂上とまちがえた売店のある場所までどつた。

それから、何分か休憩をとり、帰ることにした。帰りは下りのせいか走りながら下りてきた。登山口の人に、「お帰りなさい。」と言われて私達の登山は終わった。車に乗り家に帰る途中、父に、「お母さん行った時本当の頂上がよくわからず売店の所までしか登らなかつたんだよ。」と言われた。

この日の登山はとても疲れた。でも天気がよく、頂上からは蒲原平野、日本海、佐渡がとても良く見えすく印象的だった。「お父さん、機会があつたら今度は四人で登りたいねえ。」そう話しながら家へ向かった。



に言い聞かせるように、すごく小さな声でいう。けれど、玄関の戸が開いている時は、閉まっている時と比べると、ずいぶん気持ちが違ってくる。

そして、「ただいま」と少し大きめの声で言うと、「お帰り」と家の人返事をしてくれて、ずいぶん気持ちが明るくなる。私は、こうした家の中で言葉を交わす雰囲気になかなか好きだ。

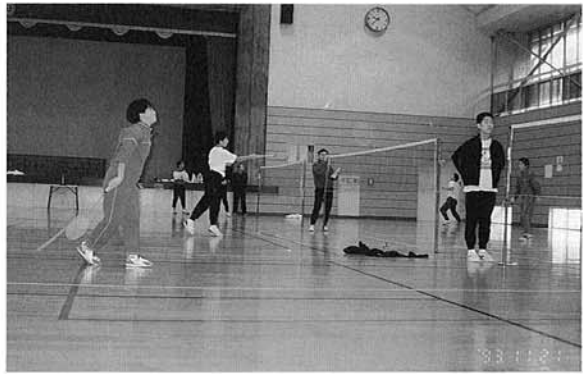
家庭では、その他にいろいろ交わす言葉がある。「おはよう」「おやすみ」「行ってきます」「お帰り」。こうした短いけれど中身の濃い言葉を交わすことが、明るい家庭を作るためには必要なことだと思う。

私は、家庭の中で、そういう言葉を交わすことが、習慣になってしまい、言葉を交わすことが当たり前と思うようになった。



マナビーくんの部屋

～ 生涯学習情報 ～



第十六回村民バドミントン大会

だれでも気軽に楽しめるソフトバレーボールの第一回大会が十二月五日、勤労福祉センターで開催されました。大会は、六人制バレーボールコートを使い、一チーム七名で行いました。

各地区の子供会、スポーツ親睦会などでソフトバレーボールをやってみませんか？用具、ルール等は、公民館へお問い合わせ下さい。



楽しいレクリエーションスポーツ 村民ソフトバレーボール大会

十二月十四日、体育協全主催の村民バドミントン大会が、中学生から一般までの十五名の参加で勤労福祉センターで開催されました。大会は、一般の部・中学生男子の部・中学生女子の部で熱戦が繰り広げられました。

結果は次の通りです。

一般の部	優勝 久須美 一栄
	準優勝 河上 慎一郎
	三位 早川 正光
	三位 加勢 幸江
中学生男子の部	優勝 池田 守
	準優勝 布施 裕和
	三位 中村 慎哉
中学生女子の部	優勝 柄沢 瞳
	準優勝 竹内 智江
	三位 小式沢 彩



五月から始まった英会話教室も十一月二十九日の閉講式をもって無事終了いたしました。初めの頃は、ジョン先生（アイランド人）の「ワッツ・ニユー」（最近の中で、新しいでき事は？）に、受講生の皆さんもシドロモドロでしたが、後半にはスラスラと答えられるようになりました。六カ月の長い期間でしたが、なかなか雰囲気の中で本場の英会話にふれることができ、受講生の皆さんも大変満足した様子でした。又、ジョン先生と個人的にも親しくなり、来年も開講してほしいとの声がたくさん聞かれました。後では来年も英会話教室を開講する予定です。皆さんの方から参加していただきたいと話しております。

英会話教室終わる！

毎月第3日曜日は、 「家庭の日」



そして、例えば「おやすみなさい」と言った時、家族の誰にも聞こえていなかったりして、返事が返ってこない、誰かが「おやすみ」と言葉を返してくれるまで何度も言ってしまう。そして、返事をしてくれると、なんとなくうれしくて、暖かい気持ちになる。そういうふうにするのは、私だけだろうか。もし、自分が「ただいま。」って言ったのに誰も返事してくれなかったら、私はさびしい。きっと、誰でも、自分の言ったことに、返事してくれなかったらいやだろう。今まで、私が「ただいま」など声をかけると、家の人は「お帰り。」と返してくれた。けれど、家の人が「ただいま」と言っても、私は、「お帰り」の一言も返すことができなかった。その例として、次のようなことがあった。私の父は夜まで働いて、疲れた体で帰ってくる。そして、疲れたような声で「ただいま」と言った。けれど、「お帰り」と言ったのは、祖母と母だけで、あとは黙っていた。ただ「お帰り」と一言言うだけなのに、それができなかった。父はきつと、疲れて帰るからみんな「お帰り」と迎えてほしいな、と思っていたと思う。だから、その時父は、どんなに寂しく思っただろう。そう思っても、できないのが現実。実。「おはよう」「行ってきます」「ただいま」と言う習慣がついているのだから、「行

ってらっしゃい」「お帰り」と言い返してあげる習慣も身につけなければいけない。家族みんなが、みんなに対してこういう言葉を交わし合えたら、それはきつと明るい家庭になるだろう。もしも、家庭内でこういう言葉を交わし合えなかったら、それは暗くて寂しい家庭だ。だから「おはよう」とか「ただいま」とか「行ってらっしゃい」とか「お帰り」など、家庭の中で交わし合うことは、家族のきずなをより深くし、明るい家庭づくりには、とても大切だと思う。そして、家族の中の誰か一人でも寂しい思いをってしまったら、明るい家庭とは言えない。だから、みんなが協力し合い、助け合い、楽しく家庭生活が送れたら、明るい家庭になるだろう。まず、私は、言葉の習慣を身につけ、家族みんなが協力し合い助け合い、明るい家庭を築きあげたい。

与板警察署より

☎ 警察署加入電話番号の変更について!!

警察署加入電話番号の統一から与板署の加入電話番号は次のとおり変わりますのでお間違いのないようにお願いします。

記

1. 実施時期
平成6年2月1日(火) 午前10時
2. 加入電話番号
与板警察署 0258-72-0110番

《悲惨な遭難事故を起こさないために》

冬山シーズンがやってきました。計画などを甘くみた安易な登山が即、遭難に結びつくと言っても過言ではありません。

また、事故がひとたび発生すれば、捜索救助活動のため多くの人を危険にさらし、大変迷惑をかけることになります。

このため、次のことを守って登山をしてください。

記

- 装備の点検を確実に
- トレーニング・耐寒訓練を十分に
- 単独登山はやめよう
- 時には引き返す勇気を
- 雪崩に注意を
- 登山計画書・登山届の提出

110番 あなたを守る ホットライン

★ こんなときためらわず 110番

- 事件や事故を見たとき
- 泥棒などの被害にあったとき
- 人が倒れているとき
- 押売りが来て困っているとき
- その他、急いで警察に知らせたいことがあるとき



今月の納税

- ※ 村民税.....第4期分
- ※ 国民健康保険料.....1月分
- ※ 国民年金保険料.....1月分
- ※ 幼稚園保育料.....1月分
- ※ 保育所保育料.....1月分
- ※ 水道使用料.....1月分

※口座振替の方については、納期限3日前より振替させていただきます。再振替は、翌月の6日になります。

お知らせ

忘れずメモしよう!

国民年金

頼りになります国民年金

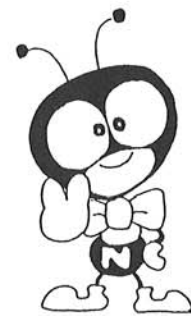
— 20歳になったら国民年金に加入しましょう —

学生さんも強制加入です!

誰もが安心してできる老後生活を送るために、国民年金は大きな役割を果たしています。若い皆さんにとっては、「年金なんて遠い将来のこと」「まだまだ先のこと」と敬遠されがちですが、今からしっかりと準備しておくことが必要です。長い人生の間には、いろいろなことがあります。病気やけがによる障害、配偶者の死亡など、思いがけないことも起こるものです。そんな時でも、国民年金に加入していれば、あなたの生活を守ることができ安心です。20歳になったら、まず、国民年金に加入しましょう。これは国民の義務であり、そして、社会人としての第一歩です。

- ① 手続きは役場で行っています。
- ② 学生さんには、親元の世帯の収入により免除制度があります。
- ③ 学生さんの場合は、親などが代わって手続きをすることができます。

詳しい事は、役場の国民年金係におたずねください。



和島保育所

◆入所申請を受付いたします

1. 入所資格
和島村に住所を有し、なおかつ家庭において保育が困難な状態にある乳児(満1歳に満たない者)及び幼児(満1歳から就学前までの者)

2. 定員 120名

3. 申請受付
(1)日時 1月17日(月) 島田地区 } 午前9時~午後4時
1月18日(火) 桐島地区 }
(2)場所 保育所(児童育成室)

4. 申請方法
保育所(児童育成室)に申請用紙が用意してありますので、必要事項を記入の上、当日ご持参下さい。

5. 保育料について
現時点では平成6年度の国の徴収基準が決定していませんので、基準が決まり次第村の基準を作り、申請後それに基づき保育料を決定します。

《算定方法は、児童と生計を同じくする父母(祖父母が家計の主宰者である場合は除く。)の前年分の所得税額等の合計による階層区分による》

6. その他
不明な点がありましたら、保育所(児童育成室)まで照会下さい。(TEL 74-3078)

和島幼稚園 入園願のお知らせ

平成6年度の幼稚園の入園についてお知らせいたします。入園の申し込みは早目にお願いたします。

◆入園できる子供は

昭和六十三年四月二日~平成元年四月一日までに生まれた子供。

◆受付期間は
一月十七日~二月一日まで。

◆提出場所は

幼稚園(児童育成室)へ。入園願の用紙と幼稚園に関する説明書は保育所を通じて子供の家庭へお届けいたします。

不明な点は、次へ

○幼稚園(児童育成室)
七四-三六六八

善意を

ありがとうございます

社会福祉に役立ててほしいと村社会福祉協議会に、心あたたまる善意が寄せられました。厚くお礼申し上げます。

車椅子の寄贈
青年 夢来 様
上小島谷 久住ムメ様
若野 浦 細山春海様
内 匿 名様



◎60歳になる人
昭和九年一月二日から昭和九年二月一日生まれの人は、掛け金を掛け終わりました。老齢基礎年金の繰り上げ請求を希望する人は請求できます。

◎60歳以上65歳未満の人
受給資格期間を満たすことができない人、または過去に保険料の未納や免除があるため、掛け金をして年金額を増やしたい人は、任意加入することができます。役場へ届け出て下さい。

◎現況届を出す人
今月生まれの受給者は、現況届のハガキが郵送されてきたら、忘れずに証明を受け、自分で切手をはって出しましょう。期間まで提出しない場合は、年金が一時差し止めになります。ハガキを紛失した時は、国民年金係に申し出て下さい。

国民年金の保険料は 所得税から控除されます

国民年金の保険料は、全額が社会保険料控除の対象となります。年末調整で申告を忘れた方は、確定申告の際には必ず保険料の申告をして下さい。一年間(一~十二月)に納めた保険料は次のとおりです。

定額	123,600円
定額+付加	128,400円
※	その他、未納、追納、前納があります。

なお、納めた保険料額がわからないときは、役場にお問い合わせください。

知っておこう!

印鑑登録・印鑑証明

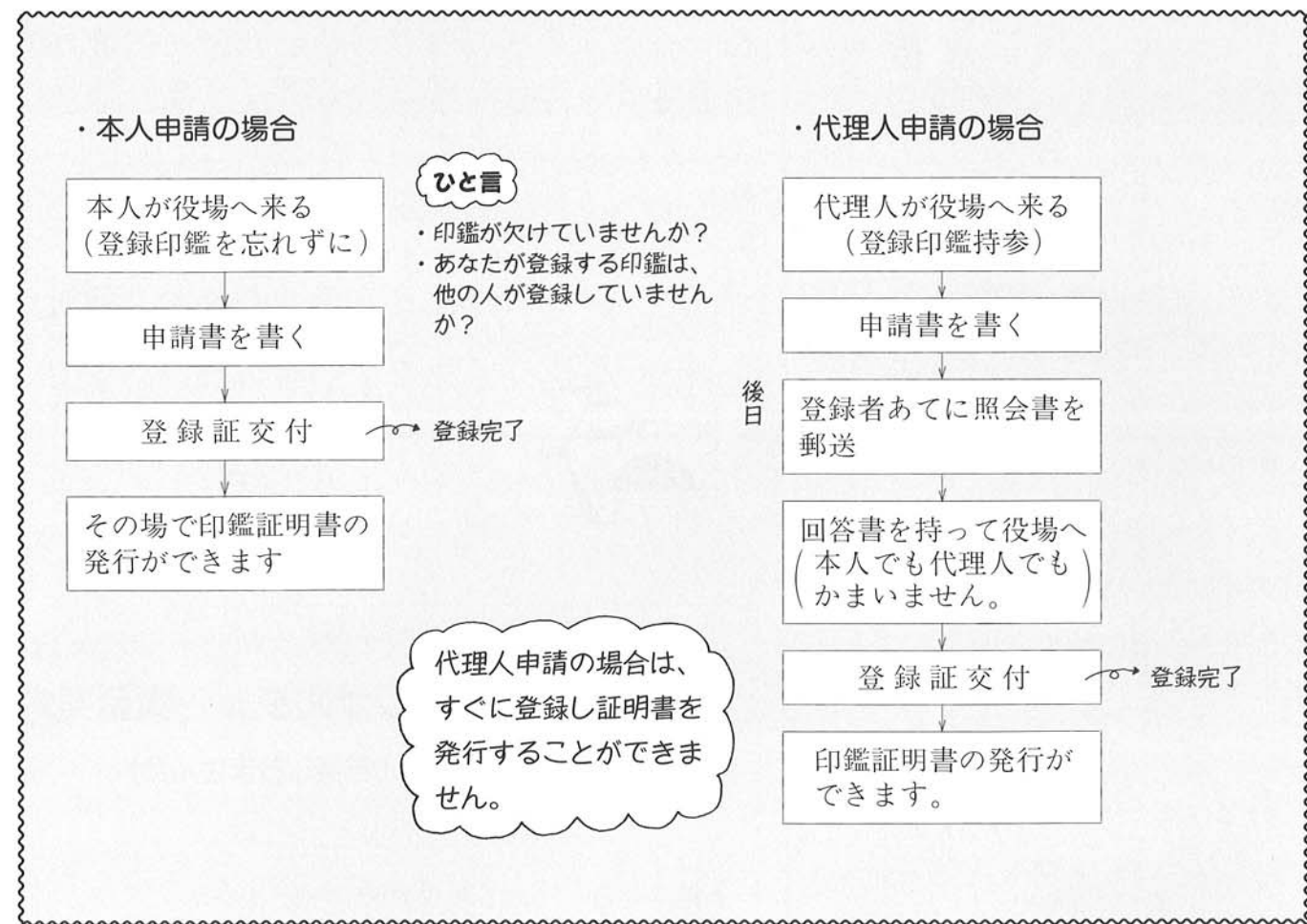
「印鑑の登録をしたいのですが…」
 「ご本人でいらっしゃいますか？」
 「いいえ。母の印鑑を登録したいのです」
 「申し訳ありません。印鑑登録は、ご本人でないといけないのですが…」
 こんな会話がたびたび窓口で聞かれます。みなさん、ご存知でしょうか？ 印鑑登録は、本人でなければでき

ません。なぜなら…
 印鑑は、日本では古くから用いられ、今日の社会でも重要な役割を果たしているからです。銀行、保険会社、官公庁…さまざまなお店で使われています。それだけ印鑑登録・証明は、慎重に行わなければいけないのです。

そこで、印鑑登録・印鑑証明について考えてみましょう。

●印鑑登録は、本人の意志で!

印鑑登録は、本人でなければできません。しかし病気や寝たきりなどで本人が役場へ来られない時は、代理人による申請ができます。二つの申請方法を比べてみると…



●印鑑証明には、登録証を忘れずに!!

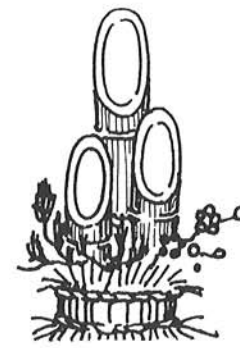
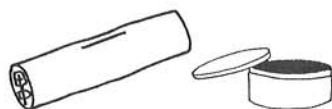
印鑑証明書をとり際には、登録証をお持ちください。登録した印鑑は、必要ありません。しかし登録証がなければ、どんな理由があっても発行できません。代理の方でもけっこうです。登録証をお忘れなく!

●こんな時、どうするの???

「印鑑登録証を無くしてしまった」
 「登録印鑑を無くしてしまった」
 「登録印鑑をかえたい」
 こんな時は、届出が必要です。手続きの方法は、新しく登録する時と同じです。

●こんなときは、登録証をお返しください。

・印鑑の登録を廃止するとき
 ・転出するとき
 ・死亡したとき



お知らせ

忘れずメモしよう!

1月の救急診療のご案内

1. 休日の救急診療

	内科	外科	小児科	産婦人科	歯科
1日(祝)	昼(午前10時~午後3時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)
	夜(午後6時~)	中央総合病院	中央総合病院	中央総合病院	長岡赤十字病院
2日(休)	昼(午前10時~午後3時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)
	夜(午後6時~)	立川総合病院	立川総合病院	立川総合病院	中央総合病院
3日(休)	昼(午前10時~午後3時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)
	夜(午後6時~)	長岡赤十字病院	長岡赤十字病院	長岡赤十字病院	立川総合病院
9日(日)	昼(午前9時~午後6時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)
	夜(午後6時~)	立川総合病院	立川総合病院	立川総合病院	長岡赤十字病院
15日(祝)	昼(午前9時~午後6時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)
	夜(午後6時~)	長岡赤十字病院	長岡赤十字病院	長岡赤十字病院	中央総合病院
16日(日)	昼(午前9時~午後6時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)
	夜(午後6時~)	中央総合病院	中央総合病院	中央総合病院	立川総合病院
23日(日)	昼(午前9時~午後6時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)
	夜(午後6時~)	立川総合病院	立川総合病院	立川総合病院	長岡赤十字病院
30日(日)	昼(午前9時~午後6時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)
	夜(午後6時~)	長岡赤十字病院	長岡赤十字病院	長岡赤十字病院	中央総合病院

2. 平日夜間の救急診療

曜日	月曜日及び木曜日	火曜日及び金曜日	水曜日及び土曜日
診療科目	外科	外科	外科
病院名	中央総合病院	立川総合病院	長岡赤十字病院

◇お問い合わせは
 長岡市健康センター内
 (長岡市西千手2丁目5番1号)

長岡市休日急患診療所 ☎ 35-8255
 長岡市休日急患歯科診療所 ☎ 33-9644
 長岡市市民環境部健康課 ☎(代)32-5000
 長岡市医師会 ☎ 32-1900
 長岡市歯科医師会 ☎ 32-1430

1月の保健衛生行事

日程	曜日	内容	対象	時間	場所
20	木	リハビリ	希望者	PM1:00~4:00	雪割荘
27	木	成分献血	16歳~65歳未満	10:00~12:00 13:00~15:00	雪割荘

